

(x x x - x x x x)
平成〇〇年〇月

照会相談業務の処理結果報告書

(回線設計及び混信計算の検討)

1 申込内容

(1) 検討対象区間

検討区間	
別紙局名	

(2) 検討条件

伝送方式	
周波数	
偏波	
混信計算条件	

2 検討結果

(1) 回線設計

区間	判定	備考	別紙参照

(2) アンテナ特性

区間	判定		別紙参照
	送信空中線 (等価等方輻射電力の上限値)	受信空中線 (標準特性)	

(3) 混信計算

① 固定マイクロ波回線間干渉計算

CH	偏波	1波判定【注1】			備考
		被干渉	与干渉	別紙参照【注2】	

【注1】判定基準

1波判定: 干渉波1波当たりの許容(又は所要)C/I(アナログの場合はS/I)及びスケルチレベル -3dB の値で判定。

総合干渉量判定: 全干渉波電力の総和(総合干渉量)に対する許容(又は所要)C/I(アナログの場合はS/I)を満足するか判定する。

【注2】 別紙帳票は、許容(又は所要)C/I(アナログの場合はS/I)及びスケルチレベル -3dB の値に対してマージンが 20dB 以内の区間を添付。

②静止衛星軌道との離角

区間	判定	備考	別紙参照

3 その他

- (1) 固定局ファイル・局情報検索出力(別紙 p5 ~ p7)は、原則として1年間仮登録され、その間に総務大臣から当該無線局の免許が付与された場合に本登録となる。
- (2) 本報告書の作成にあたっては、国土情報整備事業の一環として、国土交通省国土地理院において作成された標高データに関する国土数値情報資料を使用した。
- (3) 干渉計算においては、ビル・建物等による遮蔽及び反射効果は考慮していない。

以上